

第16回独立行政法人農林漁業信用基金農業保険関係業務運営委員会 議事概要

1 日時及び場所

- (1) 日時 令和5年9月22日(金) 15時29分～16時53分
- (2) 場所 東京都港区愛宕2-5-1 愛宕グリーンヒルズMORIタワー28階
独立行政法人 農林漁業信用基金 大会議室

2 出席者

(1) 運営委員

※ 田中委員、中山委員及び村田委員はウェブ会議形式での参加であった。

出資者：高谷委員、田中委員、中山委員、成川委員

学識経験者：水上委員長、平田委員、村田委員

(出席者・学識経験者別 五十音順)

(2) 信用基金

牧元理事長、深水副理事長、北理事、宮下理事

(3) オブザーバー(主務省)

土居下農林水産省経営局保険監理官

3 提出議案

(1) 審議事項

- ① 運営委員会運営規程の変更(案)について
- ② 運営委員会運営細則の廃止(案)について

(2) 報告事項

- ① 令和4年度の業務の実績に関する評価について
- ② 中期目標期間(平成30年度～令和4年度)における業務の実績に関する評価について
- ③ 令和4年度決算について
- ④ 独立行政法人農林漁業信用基金の農業保険関係業務及び漁業災害補償関係業務に関する業務方法書の変更について
- ⑤ 農業保険関係業務の動向及び今後の貸付けの見通し等について

(3) 情報提供事項

- ① 農業保険をめぐる状況(農林水産省経営局保険監理官)
- ② 農業共済団体の加入拡大に向けての取組―「未来へつなぐ」サポート運動の取組について(全国農業共済組合連合会)

(4) その他

委員からの情報提供

4 議事経過の概要及びその結果

上記3(1)①及び②の議案について信用基金から説明がなされた後、審議が行われ、原案どおり承認された。

また、信用基金から上記3(2)に沿って報告が行われ、土居下農林水産省経営局保険監理官及び全国農業共済組合連合会成川委員から上記3(3)の情報提供が行われた。最後に、3(4)として、出資者委員から、最近の被害状況、共済金や保険金の支払状況等の情報提供が行われた。運営委員からの主な発言等は以下のとおり。(カッコ内は

これに対する信用基金の説明)。

【意見等】

(1) 審議事項

① 運営委員会運営規程の変更(案)について

〈 質疑なし 〉

② 運営委員会運営細則の廃止(案)について

〈 質疑なし 〉

(2) 報告事項

① 令和4年度の業務の実績に関する評価について

〈 質疑なし 〉

② 中期目標期間(平成30年度～令和4年度)における業務の実績に関する評価について

〈 質疑なし 〉

③ 令和4年度決算について

〈 質疑なし 〉

④ 独立行政法人農林漁業信用基金お農業保険関係業務及び漁業災害補償関係業務に関する業務方法書の変更について

〈 質疑なし 〉

⑤ 農業保険関係業務の動向及び今後の貸付けの見通し等について

- 貸付金利の見直しの可能性について、調達金利の上昇の動きは理解するが、借り入れる側からすると負担が増えるので、可能な限り維持するようお願いしたい。また、もし貸付金利を見直す場合には、早めにご連絡をいただきたい。

(当然低い金利が望ましいが、現在の時点で利ざやがなくなってきている。貸付金利を見直す場合は、早めにご連絡したい。)

(5) 情報提供事項

① 農業保険をめぐる状況(農林水産省経営局保険監理官)

〈 質疑なし 〉

② 農業共済団体の加入拡大に向けての取組―「未来へつなぐ」サポート運動の取組について(全国農業共済組合連合会)

〈 質疑なし 〉

③ 委員からの情報提供

出資者委員から最近の被害状況、共済金や保険金の支払状況等について次のとおり報告があった。

- 地域の農業共済組合の出資者から、台風、集中豪雨、渇水及び高温による水稲、畑作物、果樹及び園芸施設の被害状況に関する報告があった。
- 収入保険の現在の保険金等の支払状況については、現在支払をしているのは令和4年の契約に対する支払である。令和4年は7～8月の豪雨や新型コロナウイルス感染症の影響による販売量や販売価格の低迷があった。令和5年9月22日現在、97%の処理状況であるが、これまでの保険金等の支払は532億円で、支払対象は加入経営体の38%。令和5年は7～8月の豪雨の影響が保険金等に影響するのではないかと考えている。また、米価が前年に比べ1俵当たり千円程度高いものの、高温障

害等により1等米の割合が低くなっているとの報道もあり、これらによる保険金等の支払が見込まれる。

以上